

平成 29 年度  
社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会  
事業報告書

- P 1～ 4 法人の運営
- P 4～15 地域福祉活動関係
- P 15～21 ボランティア活動関係
- P 21～27 高齢者福祉活動関係
- P 27～29 障がい者福祉活動関係
- P 29～32 母子・父子・児童青少年福祉活動関係
- P 32～38 福祉関係一般

## 平成 29 年度

### 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告書

平成 29 年度は、第 1 期矢巾町地域福祉活動計画に沿って、行政や専門機関、地域住民や地域福祉活動団体、ボランティアなど地域に関わるすべての人々が協働してお互いに支え合う地域づくりを目指し、「つながり」の重要性を深く認識した活動を展開した。

地域で生活する高齢者や障がい者等をボランティアで支え合う「矢巾町日常生活たすけあい隊」は、住民同士が協力して必要な生活支援を行った。また高齢者等の孤独感解消、ひきこもり防止、介護予防、地域住民の居場所づくりのためのサロン活動、支え合いマップづくりの推進など福祉コミュニティづくりに向けて住民の意識向上を図った。

いつまでも安心して住み慣れた地域で暮らしていくために、町内福祉施設や地域包括支援センター等関係機関と密接に連携を図り、町民が安心して暮らすことができるようネットワークの充実に努めた。平成 29 年度は、生活支援コーディネーターを設置し、制度の狭間で困難な状況にありながらサービスを受けられない人が出ないように個別のケース会議や関係機関との連絡調整を行った。

平成 29 年度もボランティア団体や個人による障がい者や高齢者を対象にした社会貢献活動が活発に展開された。特に「傾聴ボランティア養成講座」は、傾聴に関する知識や技術、心構えを学び、積極的に活動を展開した。「いきいき福祉交流会」では、障がい者自身の積極的な社会参加が図られ、ボランティアや多くの町民との交流を深める機会となった。

高齢者の福祉充実と健康増進のため、「生きいき教室」や「金婚式」の開催、スポーツ活動や社会参加活動の推進など生きがいのある社会づくりに取り組んだ。

改正となった社会福祉法の中では、社会福祉法人の公益的な取り組みの実施が特に重要視されており、「やはば生活支援ネットワーク事業」は、町内の社会福祉法人と医療法人 8 法人が共同して福祉サービスを提供するものであり、「福祉おつかいサービス」や生活困窮者の生活支援に取り組み、福祉の町づくりを進めるうえで大きな力となった。

生活困窮者自立支援法に基づき開設した「いわて県央生活支援相談室」は、盛岡広域振興局、岩手県社会福祉協議会、矢巾町地域包括支援センター等関係機関と連携をとりながら就労・自立に向けて支援を行った。月 1 回の支援調整会議では、行政や包括支援センター、障がい者相談事業所、子育て支援センターなどネットワークを強化し支援の充実につなげることができた。

様々な問題を抱え悩んでいる方々のための「暮らしの専門相談所」の開設、生活にさまざまな問題を抱えた方々のための「生活福祉資金」や「たすけあい金庫」の貸付事業、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の設置など組織的な相談支援活動を行った。

児童館運営事業や子育て支援拠点事業に取り組み、地域全体で子供たちが健やかに育ち、安心して子育てができるよう環境づくりを行ってきた。さらに一人親世帯を対象にした「ここかむ食堂」の開催、福祉協力校の「おもいやりの心育成事業」、地域見守り活動と

して「抹茶サロン(矢巾中学校)」「少年非行防止パトロール」、「福祉の町づくり子ども川柳」の取り組みなど児童青少年福祉の充実を図り、ふれあいと思いやりに満ちた町づくりに努めた。

社会福祉協議会の福祉サービスについては、広報誌やホームページで積極的に情報を発信し、意見箱を設置して利用者の意見要望の把握に努めた。

## 1 法人の運営

### (1) 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第 1 回理事会 平成 29 年 5 月 22 日	理事 11 名 監事 3 名	平成 28 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認について 平成 28 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出決算の承認について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員の推薦について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員選任解任委員会の招集について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員会の招集について
第 2 回理事会 平成 29 年 6 月 16 日	理事 13 名 監事 2 名	社会福祉法人矢巾町社会福祉会会長、副会長及び常務理事の選任について
第 3 回理事会 平成 29 年 12 月 12 日	理事 12 名 監事 3 名	平成 29 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算(第 1 号)について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会資金運用規定の設置について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第 2 回評議員会の招集について
第 4 回理事会 平成 30 年 3 月 19 日	理事 11 名 監事 2 名	報告事項 平成 29 年度会長、常務理事の執行状況について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算第 2 号(案)について 平成 30 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画(案)について 平成 30 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出予算(案)について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会臨時的任用職員取扱要領の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会パートタイマー就業規則の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について
		社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会監事候補者の推薦について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会徳田・煙山・不動児童館館長の選

		任について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会第3回評議員会の招集について
--	--	---

## (2) 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第1回評議員会 平成29年 6月16日	評議員 19名 理事4名 監事1名	平成28年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告の承認について 平成28年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出決算の承認について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会理事の選任について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会監事選任について
第2回評議員会 平成29年 12月21日	評議員 16名 理事3名	平成29年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算(第1号)について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会経理規程の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会資金運用規程の設置について
第3回評議員会 平成30年 3月27日	評議員 17名 理事3名	平成29年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出補正予算第2号(案)について 平成30年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業計画(案)について 平成30年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出予算(案)について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会臨時的任用職員取扱要領の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会パートタイマー就業規則の一部改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規則の改正について 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会監事の選任について

## (3) 監事会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第1回監査会 平成29年 4月26日	監事3名	1 平成28年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会事業報告について ①社会福祉協議会 ②児童館 ③居宅介護支援事業所 ④生きがい対応型デイサービス 2 平成28年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会一般会計収入支出決算書類について 会計区分 ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業

		3 平成 28 年度寄付者の状況 4 平成 28 年度福祉基金積立金の状況 5 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会預金残高証明書（平成 29 年 3 月 31 日現在） 6 社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会運営点検表
第 2 回監査会 平成 29 年 7 月 24 日	監事 3 名	1 平成 29 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、残高試算表、貸借対照表、予算執行状況について ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業
第 3 回監査会 平成 29 年 10 月 18 日	監事 3 名	1 平成 29 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、残高試算表、貸借対照表、予算執行状況について ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業
第 4 回監査会 平成 30 年 1 月 31 日	監事 2 名	1 平成 29 年度社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会仕訳伝票、残高試算表、貸借対照表、予算執行状況について ①社会福祉協議会事業 ②共同募金事業 ③たすけあい金庫事業 ④居宅介護事業 ⑤児童館事業

#### (4) 評議員選任・解任委員会の開催状況

開催年月日	出席者数	議 題
第 1 回評議員選任・解任委員会 平成 29 年 6 月 13 日	委員 5 名	社会福祉法人矢巾町社会福祉協議会評議員の選任について

#### (5) 苦情解決への取組状況

##### 1) 苦情解決委員会の開催

期 日 平成 30 年 2 月 9 日

場 所 さわやかハウス相談室

出席委員 廣田貴徳委員 北田利子委員

出席職員 藤原隆聖事務局長 佐藤由子事務局次長

##### 2) 苦情受付状況について

平成 28 年 7 月～委員会開催まで

受付苦情件数 4 件(社会福祉協議会 3 件、児童館 1 件)

#### (6) 平成 29 年度社会福祉法人指導監査

期 日 平成 29 年 10 月 30 日

場 所 さわやかハウス

監査委員 岩手県地域福祉課 主査 菊池理香氏

監査指導員 丹代一志氏

監査指導専門員 菊池光氏

出席職員 藤原隆聖事務局長 佐藤由子事務局次長 小松晃主任

## 2 地域福祉活動

### (1) 福祉の実態調査

民生児童委員の協力により福祉調査を実施

調査期間 平成29年10月1日～

調査結果

ねたきり老人	在宅者	65歳以上	6人
一人暮らし老人	在宅者	65歳～69歳	142人
		70歳以上	498人
		合計	640人
高齢者世帯	65歳～69歳のいる世帯		336世帯
	70歳以上のみの世帯		441世帯
	合計		777世帯
認知症老人	在宅者	65歳以上	38人
重度身体障がい者	在宅者		216人
知的障がい者	在宅者		119人
精神障がい者	在宅者		26人
母子家庭 (0歳～15歳までの世帯)	108世帯		児童数159人
父子家庭 (0歳～15歳までの世帯)	9世帯		児童数12人

### (2) 広報活動

社会福祉協議会・福祉と保健関係・ボランティア活動に関する情報の提供のため広報紙「やはばのふくし」を発行した。

第125号	平成29年6月1日
第126号	平成29年10月1日
第127号	平成30年1月16日
第128号	平成30年3月16日

### (3) 社会福祉協議会会費

平成29年8月に行政区長の協力を得て会員会費納入の運動を行なう。

1) 世帯会員の募集

41 行政区、会員数 6,389 世帯（前年増減なし） 6,389,000 円（前年増減なし）
パンフレット「社協会費の行方」全戸配布

2) 法人会員の募集

平成 30 年 2 月に社会福祉協議会役員による賛助会員の募集と会費納入運動を行なう。

町内外企業 260 社（前年 258 社） 12 施設（前年 12 施設） 723,000 円（前年 720,000 円）
パンフレット「社協会費の行方」配布、協力事業所名を「やはばのふくし」に掲載

**(4) 国民たすけあい共同募金**

平成 29 年 10 月全国一斉「赤い羽根国民たすけあい共同募金」「歳末たすけあい共同募金」運動を展開（10 月 1 日～12 月 31 日）

パンフレット「共同募金の行方」全戸配布

1) 赤い羽根共同募金運動（平成 29 年 10 月 1 日～12 月 31 日）

目 標 額 5,000,000 円

実 績 額 4,131,467 円（前年 4,148,125 円、前年比 16,658 円減）

矢巾町の目標達成率 82.7%

	募 金 額（円）	協 力 機 関 等
戸 別 募 金	3,241,000	各行政区
法 人 募 金	688,500	町内事業所 231
街 頭 募 金	20,068	ジュニアボランティア探検隊
学 校 募 金	43,100	町内小・中学校、高校
職 域 募 金	17,674	徳田保育園、みちのくコココーラ、矢巾町役場、社会福祉協議会
チャリティー募金	78,594	マレットゴルフシニア大会、チャリテイゲートボール大会、トヨタ部品フリマ、ちょボラの会
そ の 他 の 募 金	42,531	募金箱、ピンバッジ、自販機他
合 計	4,131,467	

2) 歳末たすけあい共同募金運動（平成 29 年 10 月 1 日～12 月 31 日）

目 標 額 2,500,000 円

実 績 額 2,813,775 円（前年 2,905,078 円、前年比 91,303 円減）

矢巾町の目標達成率 88.8%

	募 金 額（円）	協 力 機 関 等

戸 別 募 金	2,551,251	各行政区
法 人 寄 付 金	100,000	金子新聞販売（株）
催 事 寄 付 金	116,924	ケアセンター南昌、矢巾町連合婦人会
団 体 ・ 個 人 寄 付 金	45,600	矢巾中央幼稚園父母会、ともしび会、 アグリ曲戸、個人4名
合 計	2,813,775	

### 3) 災害義援金募金運動

平成 29 年 7 月に発生した秋田県大雨災害、九州北部大雨災害、9 月の台風 18 号、10 月の台風 21 号に対する義援金は、日本赤十字矢巾町支部（矢巾町役場福祉・子ども課）と社会福祉協議会が合同で受付し、寄せられた義援金は赤十字社を通じて被災地へ贈られた。「あったかいわてプロジェクト～地域みまもり応援募金～」にもご協力をいただいた。

受付募金名	募 金 額 (円)	協 力 機 関 等
秋田県大雨災害義援金	63,431	
九州北部大雨災害義援金	299,828	
台風 10 号、21 号災害義援金	4,668	
あったかいわてプロジェクト～地域みまもり応援募金～	30,000	流通センター不動産

#### ※あったかいわてプロジェクト～地域みまもり応援募金～

東日本大震災被災者の復興に向けた支援や高齢者等の孤立防止、ひきこもりや自立に困難を抱える若者の支援など寄付先を選んで寄付ができるもので、岩手県内の地域解決を図る活動に役立てられます。国民たすけあい共同募金運動後の翌年 1 月から 3 月までの 3 カ月間が運動期間となっている（岩手県共同募金会）。

### 4) 共同募金による福祉のまちづくり支援事業

地域で身近な福祉課題に取り組む福祉のまちづくりを行う地域の団体活動を支援することにより、住民参加による福祉コミュニティづくりを推進するため、県共同募金会と協力して「福祉のまちづくり支援事業」を実施した。

団体名または事業名	助成金交付額（円）
-----------	-----------



やはば保育園行事参加送迎用車両整備事業	1,500,000
土橋自治会住民の健康交流事業	145,000
矢巾町ゲートボール協会施設整備事業	187,000

## (5) 社会福祉協議会福祉基金

財政基盤を確立し、安定した財源の確保による地域福祉活動の展開をめざして、積み立てを行なっている福祉基金の充実を図った。

### 【基金管理状況】

平成 29 年度の新規積立金	2,495,000 円	17 件
現在の積立金 (30.3.31)	134,173,906 円	

## (6) 地域福祉ネットワーク活動

### 1) 地域福祉ネットワーク活動研修会

一人暮らし老人や障がい者を対象とした地域での見守り活動や、支援体制を創り出すため研修会並びにネットワークづくり作業と見直しを行った。

期 日 ・ 場 所	平成 30 年 3 月 5 日～6 日 平泉町 ホテル武蔵坊
参 加 者	老人クラブ 76 名
内 容	・地域福祉ネットワーク協力員が、地域の高齢者、障がい者が安心して暮らせる地域づくりを進めるため研修会を実施。地域内の援助が必要な者を確認するとともに役割分担を決め、活動を推進していくことを確認した。 ・クラブの活動状況について発表 高田 3 区友愛クラブ、矢巾 3 区老寿会
ネ ッ ト 数	31 地区 922 ネット
協 力 員 数	220 人

### 2) 矢巾町日常生活たすけあい隊

地域の高齢者や障がい者等支援を必要としている人に対し、日常生活を送るうえで必要な支援をボランティアで支え合う日常生活たすけあい隊の組織づくりを推進した。各単位老人クラブを中心に日常生活たすけあい隊研修会や地域での説明会などを通じて支え合う仕組みづくりについて住民の意識向上を図った。平成 29 年度は新たに 2 団体が登録した（たすけあい隊総人数 11 単位老人クラブ 59 名、オレンジボランティア 26 名、傾聴ボランティア 13 名、個人ボランティア 4 名 計 102 名 平成 30 年 3 月 31 日現在）。

#### ①日常生活たすけあい隊研修会

期 日 ・ 場 所	平成 30 年 9 月 6 日 さわやかハウス
参 加 者	日常生活たすけあい隊 52 名

内 容	高齢者のこころの健康教室 未来の風せいわ病院 理事長 智田文徳氏
-----	-------------------------------------

②日常生活たすけあい隊説明会

平成 29 年 9 月 13 日	煙山・矢巾 2 区・矢巾 3 区	やまゆりハウス
平成 29 年 11 月 20 日	広宮沢	広宮沢公民館
平成 30 年 1 月 10 日	太田鶴清クラブ	さわやかハウス

**(7) 貸し出し用 A E D 設置**

町民の命を守ることを目的に、矢幅駅に自動対外式除細動器（A E D）を設置し、住民の安全を図った。また、町内の諸行事で、緊急時に使用できるように貸し出し用 A E D を設置し利用いただいた。

**(8) 役職員研修・委員会等の参加状況**

①県央地区社会福祉協議会連絡協議会総会

期日・場所	平成 29 年 4 月 13 日 盛岡市総合福祉センター
出席者	谷村会長、村松副会長、吉岡副会長
内 容	28 年度事業報告・決算について、29 年度事業計画・予算について

②生活福祉資金貸付事業担当職員研修会

期日・場所	平成 29 年 6 月 12 日～13 日 ふれあいランド岩手
出席者	牧田貸付相談員
内 容	<p>1 日目 6 月 12 日</p> <p>【説明】 「生活福祉資金貸付制度の動向について」 岩手県社会福祉協議会地域福祉部 生活相談室 室長 佐藤雅子氏</p> <p>【講義 1】 「アセスメントとは」 坂口社会福祉士事務所 坂口繁治氏</p> <p>【事例検討】 テーマ「安定した生活と経済的自立に向けた支援」 助言者 坂口社会福祉士事務所 坂口繁治氏</p> <p>事例 1 二戸市社会福祉協議会 地域福祉課 暮らしの相談窓口 主任相談支援員 小原弘幸氏 地域福祉課 副主任 松森美重子氏</p> <p>事例 2 盛岡市暮らしの相談支援室 パーソナルサポーター 千田美代子氏 盛岡市社会福祉協議会 地域福祉課 主事 伊藤真実氏</p> <p>2 日目 6 月 13 日</p> <p>【講義 2】 「生活上の困りごと・トラブル解決のための基礎知識」 南部富士法律事務所 弁護士 畠山将樹氏</p>

	<b>【講義3】</b> 「DV 被害者への支援」 岩手県男女共同参画センター センター長 姉帯幸子氏
--	---

③岩手ボランティア育成会通常総会・長澤基金贈呈式

期日・場所	平成 29 年 6 月 18 日 都南公民館
出席者	藤原事務局長
内容	平成 28 年度事業報告・決算、平成 29 年度事業計画・予算 長澤基金贈呈 ・高田地区おたっしやサロン 100,000 円 ・わんわんパトロール 30,000 円

④県央地区社協ボランティア活動実践研究会

期日・場所	平成 29 年 7 月 25 日 雫石総合福祉センター
出席者	藤原局長
内容	<b>【講義】</b> ファシリテーターの役割について 特定非営利活動法人「天空社」藤尾智子氏

⑤岩手県生活支援コーディネーター連絡会

期日・場所	平成 29 年 6 月 19 日 いわて県民情報交流センター「アイーナ」
出席者	佐々木主事
内容	<b>【情報交換】</b> 「生活支援コーディネーターと協議体の目的や役割を理解し、選出し実践していきましょう」 公益財団さわやか福祉財団 会長 堀田力氏 新地域支援事業担当リーダー 森孝則氏 ・第 1 層・第 2 層の体制づくりについて ・助け合い活動のニーズと担い手の掘り起こしの進め方について ・助け合い活動の創出について

⑥岩手県生活支援コーディネーター養成研修会

期日・場所	平成 29 年 8 月 30～31 日 アイーナ
出席者	佐々木主事
内容	1 日目 <b>【行政説明】</b> 岩手県保健福祉部長寿健康課 特命課長 森昌弘氏 <b>【講義】</b> 生活支援コーディネーターと協議会に期待される機能と役割 公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水肇子氏 <b>【事例紹介】</b> 自治体の取組み事例紹介 公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水肇子氏 2 日目 <b>【講義】</b> ニーズ把握と担い手の掘り起こしについて 助け合い活動の創出について 公益財団法人さわやか福祉財団 理事長 清水肇子氏

	<p>【グループワーク】</p> <p>第1層の基盤整備について ニーズ把握と担い手の掘り起し、助け合い活動の創出について 公益財団さわやか福祉財団 理事長 清水肇子氏 新地域支援事業担当リーダー 森孝則氏</p>
--	---

⑦県央地区社協職員研修会

期日・場所	平成29年8月21～22日 盛岡市ユートランド姫神
出席者	佐藤次長・佐々木主事
内容	<p>【講義】</p> <p>いわての子どもの貧困対策推進計画 岩手県保健福祉部子ども家庭担当課長 駒木豊広氏 地域で家族だんらん こども食堂 特定非営利活動法人インクルいわて 理事長 山屋理恵氏</p> <p>【講習】</p> <p>レインボー健康体操で寝たきりゼロ 特定非営利活動法人ウェルネスクラブ レインボー体操で寝たきり0を目指す会 代表 工藤昭敏氏</p>

⑧県央地区社会福祉協議会先進地研修

期日・場所	平成29年9月5～6日 静岡市社会福祉協議会、足立区社会福祉協議会
出席者	小松主任
内容	<p>【研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡市社会福祉協議会 コミュニティバス運行、権利擁護センターについて</li> <li>・足立区社会福祉協議会 保証人サービスについて等</li> </ul>

⑨第70回岩手県社会福祉大会

期日・場所	平成29年11月11日 岩手県民会館
出席者	理事4名・佐藤次長・小松主任
内容	<p>表彰</p> <p>【記念講演】 助け合いの社会 高橋源一郎氏(作家・大学教授)</p>

⑩北上市社会福祉協議会合同研修会

期日・場所	平成30年2月27日 北上市さくらホール
出席者	高野理事・佐藤次長
内容	<p>【講演】</p> <p>子ども食堂を通じてた地域のつながり・支えあい 特定非営利活動法人豊島区子ども WAKUWAKU ネットワーク 代表理事 栗林知絵子氏</p>

⑪地域で育む福祉教育推進モデル事業情報交換会

期日・場所	平成30年3月2日 ふれあいランド岩手
出席者	佐々木主事

内 容	モデル指定社協取組み報告及び情報交換 ・大船渡社協 ・金ヶ崎社協
-----	-------------------------------------

## ⑫二戸地区社協役職員研修会

期日・場所	平成 30 年 3 月 13 日 二戸地区合同庁舎
出席者	佐藤次長
内 容	【講演】 やはば生活支援ネットワーク事業について (佐藤次長 講師) 【報告】 くらしの相談窓口 取組みについて 二戸市社会福祉協議会 くらしの相談窓口 主任相談支援員 小原弘幸氏

## ⑬地域における公益的な取組の共同実施『やはば生活支援ネットワーク事業』 ・連絡会

期日・場所	平成 29 年 11 月 22 日 ケアセンター南昌
出席者	ネットワーク協議会役員 7 名、藤原局長、佐藤次長
内 容	・生活支援ネットワーク事業及び経費について経過報告 ・活動の振り返り

## (9) 日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などが、自立した社会生活をおくれるよう福祉サービス利用の援助を行うことにより、その者の権利擁護に資することを目的として、各都道府県社会福祉協議会が実施主体となり、基幹社協である盛岡市社会福祉協議と協力して事業展開がされた。事業の具体的なサービスにあたり、2名の支援員を配置して支援活動を行った。

- 1) 利用者 9名 (平成 30 年 3 月 31 日現在)
- 2) 良質な福祉サービスの提供と援助技術の向上・体制の整備を図るための支援員の研修を行った。

## (10) 第 27 回健康福祉まつり

健康で幸せな人生を送ることはすべての町民の願いであり、町づくりの基本である。社会経済情勢の変動と少子・高齢化社会が急速に進展する現状において、町民の保健、医療、福祉に対する関心を高め、長寿社会に対応した福祉を地域全体で支え合い、一人一人が健康で生きがいをもち、子供から高齢者まですべての町民が安心して暮らし、健康長寿のまちづくりをすすめていくことを目的として開催した。

期 日	平成 29 年 10 月 15 日
場 所	さわやかハウス

テ ー マ	「みんなでつくる 健康福祉のまち」
内 容	<p><b>【式 典】</b> 健康福祉まつり大会長表彰  「元気で長生き表彰」 17名  「8020 健康な歯表彰」 14名  国民健康保険特定健康診査自治会表彰 6自治会  矢巾町社会福祉協議会長表彰 23名  こども川柳会長表彰 13名</p> <p><b>【講演】</b>  シルバーリハビリ体操  「伸ばそう健康寿命!~いくつになっても動ける体づくり~」  花巻市健康福祉部長寿福祉課  上席主任(理学療法士) 晴山弥子氏</p> <p><b>【催事】</b>  骨塩定量測定、放射能関連パネル展示コーナー、血管健康年齢及び体内年齢測定コーナー、シルバー人材センター活動紹介（※シルバー人材センター事務所）、保健推進員コーナー、地域密着型サービス事業所紹介、福祉施設紹介・作品紹介、健康福祉川柳コーナー、食生活改善推進員紹介、正しいラジオ体操体験コーナー、精神保健関係団体活動紹介、矢巾町地域包括支援センターコーナー、親子ふれあいあそびコーナー、町内保育園児の作品展、認知症の方を支える活動コーナー、おたすけ茶屋コーナー、おもちゃ図書館遊びコーナー、わくわくランドコーナー、母子寡婦福祉協会活動紹介、キャップハンディコーナー（民生児童委員協議会）、矢巾町人権擁護委員活動紹介コーナー、刑務所作業製品展示即売コーナー、わんわんパトロール隊活動紹介コーナー、ことばのリハビリ体験・相談コーナー、脳卒中予防の健康相談コーナー、無料マッサージ体験コーナー、無料ネイルコーナー、ケアマネコーナー、こども川柳展示</p>
参 加 者	約 1,000 名

### (11) 平成 29 年度金婚式

永年にわたり地域社会の発展に尽くされ、また家庭の繁栄に努めてこられた結婚 50 周年をむかえたご夫婦 10 組を迎えて金婚式式典・祝賀会を開催した。

期 日	平成 29 年 11 月 16 日
場 所	盛岡八幡宮崇敬殿
内 容	北天会、津軽三味線、民生委員による歌や余興、詩吟など披露いただく。代表のご夫婦に 50 年をふりかえってのお話をいただいたり 50 年前の岩手県の映像を鑑賞する。記念品を贈呈。
参 加 者	39 名

### (12) 第 28 回いきいき福祉交流会

地域住民一人ひとりが心豊かで活力のある地域福祉社会の創造をめざし、障がい者福祉、高齢者福祉の充実と、ボランティア活動の活性化を図り、福祉のまちづくりを地域住民と共に築いていくため開催した。

期 日	平成 30 年 2 月 23 日
場 所	さわやかハウス
内 容	チーム対抗ゲーム大会 ①聖火リレー ②カーリング ③玉入れ
参 加 者	約 110 名

### 3 ボランティア活動関係

#### (1) 東日本大震災被災地支援活動について

平成 23 年 3 月 11 日東日本大震災被災地支援のために継続的な活動に取り組んだ。

月	日	派遣先	団体名	ボランティア 派遣人数	職員
8	3	釜石市鶴住居児童館 平和の鐘	矢巾町ジュニアボランティア 探検隊	9	4

#### (2) 傾聴ボランティア養成講座

傾聴に関する知識や技術、心構え等を学び、地域や施設で活躍する傾聴ボランティアを養成した。講座の修了者で構成する「傾聴ボランティアやはば 柚子の会」を発足させ、町内のボランティア活動を推進することができた。

【講 師】 傾聴ボランティアもりおか 会長 藤原一高氏

【受講者】 19名

	期 日	内 容
第 1 回	平成 29 年 6 月 26 日	傾聴の意味と意義、心構え、傾聴スキル
第 2 回	平成 29 年 7 月 3 日	認知症高齢者の理解と傾聴ボランティアの 関わり方、ロールプレイ
第 3 回	平成 29 年 7 月 10 日	ロールプレイ
第 4 回	平成 29 年 7 月 18 日	傾聴ボランティアとは? 傾聴ボランティアの ケアについて
	※施設等で傾聴活動を研修(体験)	
第 5 回	平成 29 年 7 月 24 日	施設傾聴活動を振り返って ロールプレイ
第 6 回	平成 29 年 7 月 31 日	スキルアップとロールプレイ

#### (3) 手話奉仕員研修会(矢巾町自発的活動支援事業)

手話奉仕員基礎課程を修了した奉仕員が、月 1 回の定例会を開催し、手話の技術の向上を図り、情報交換をすることができた。また、ろうあの方と一緒に料理教室を体験することにより、聴覚障がい者への理解と支援を積極的に行うことができた。

期 日	参加員数	内 容	場 所
平成 29 年 5 月 6 日	21 名 (内ろうあ者 6 名)	手話DEわいわいクッキング (飾り寿司)	さわやかハウス
平成 29 年 9 月 29 日	17 名 (内ろうあ者 5 名)	手話DEわいわいクッキング (アップルポテトパイ他)	やはぱーく
毎月第 3 火曜日	毎回 10～12 名	定例会	いちご館

#### (4) 小学生ジュニアボランティア探検隊

町内の小学生が、社会福祉・ボランティア活動の重要性について体験を通じて理解を深めた。ボランティア活動がどうしても必要なのか、障がいを持つ人たちにどんな援助ができるかなど、3回の活動を通して自分達にできるボランティア活動について楽しく学び合うことができた。

9月のふれあい広場は台風の影響で中止になったため、「きつずフリーマーケット」やイベントボランティア活動は実施できなかったが、赤い羽根共同募金街頭募金活動など社会貢献活動の意義を身近なものとして認識することができた。

##### 第 1 回ジュニアボランティア探検隊

期日・場所	平成 29 年 7 月 25 日 岩手県立図書館・南昌ケアセンター
人 数	小学生 (4～6 年生)、9 名
内 容	・岩手県立図書館 ユニバーサルデザイン ・南昌ケアセンター 認知症キッズサポーター講座・施設見学

##### 第 2 回ジュニアボランティア探検隊

期日・場所	平成 29 年 8 月 3 日 釜石市鶴住居児童館・復興の鐘・釜石大観音
人 数	小学生 (4～6 年生) 9 名
内 容	・鶴住居児童館の児童とゲームで交流 ・復興の鐘、釜石大観音見学

##### 第 3 回ジュニアボランティア探検隊

期日・場所	平成 29 年 9 月 30 日
人 数	①マックスバリュ・アルコ前 ②ビッグハウス前 小学生 (4 年生～6 年生) 11 名 ちょボラの会 10 名
内 容	共同募金活動 赤い羽根共同募金運動として矢巾ショッピングセンター、ビッグハウス前にて街頭募金活動を実施した。募金額 20,068 円(前年度 38,341 円)

#### (5) 小学生福祉講座

小学生が日常生活で障がい者や高齢者のためのボランティア活動に取り組むことができるよう各小学校と協力し福祉学習会を実施した。鍼灸師村上直人さんにボランティアとして協力をいただき、充実した内容での講座が開催できた。



①矢巾東小学校体験講座

期日・場所	平成 29 年 9 月 12 日
人 数	4 年生 83 名、職員 4 名
内 容	視聴覚障がい者や車イス使用の方々に対する理解を深め、ボランティア活動について学ぶため、キャップハンディ体験をした。 ・白杖体験と視覚障がいについて 南矢幅 4 区 針灸師 村 上 直 人 氏 ・車イス体験 小松主任

②徳田小学校体験講座

期日・場所	平成 29 年 11 月 27 日
人 数	4 年生 29 名、職員 4 名
内 容	視聴覚障がい者や車イス使用の方々に対する理解を深め、ボランティア活動について学ぶため、キャップハンディ体験をした。 ・白杖体験と視覚障がいについて 南矢幅 4 区 針灸師 村 上 直 人 氏 ・車イス体験 小松主任

(6) ボランティア活動の連絡調整

ボランティアセンターでは、ボランティア塾修了者を中心に地域での福祉活動、老人保健施設、老人ホーム、障がい者福祉施設へボランティアを派遣した。

各種登録ボランティアや団体も、地域での福祉活動や、老人ホーム、福祉作業所を中心に活発な事業展開を行った。声の広報ボランティアは、毎月朗読奉仕を実践し、民生委員と一体となって視覚障がい者へのボランティア活動に取り組んだ。さくらの船の会、千成の会、いきいきボランティア、ちょボラの会、JAいわて中央やはばハートフルワーカーズ虹の会は、定期的に老人ホームや福祉作業所等への奉仕活動に積極的に取り組み、住みよいまちづくりに貢献した。

ひとり暮らし老人の集いでは、さくらの船の会、母子寡婦福祉協会、食ボラ工房「菜々彩」、食生活改善推進協議会、千成の会など多くのボランティアの協力が得られ、会食を通して地域の方々との交流を深めることができた。

平成 29 年 11 月 2 日には「ボランティア交流会」を開催し、秋田県増田町への研修を行い、ボランティア同士交流を深めることができた。

1) ボランティア登録・斡旋の状況

ボランティア登録数	団体	21 団体 (450 名)
	個人	17 名
	合計	467 名
ボランティア斡旋数	234 件	

2) 在宅福祉関係ボランティア活動状況

①ゆり花の集い（一人暮らし老人の集い）

協力団体	母子寡婦福祉協会、食生活改善推進員協議会、千成の会、さくらの船の会、男の料理教室受講者、食ボラ菜々彩
活動日数	7回
活動者数	延べ47名

### ②声の広報ボランティア

毎月1回さわやかハウスにて、町広報紙等を朗読し、録音したテープ、CDを視覚障がい者等に配布した。

利用者	2名	
録音ボランティア	12回	延べ50名
配達ボランティア	12回	延べ24名

### 3) 団体ごとの取り組み状況

#### ①矢巾町さくらの船の会

特別養護老人ホーム志和荘	10回
介護老人保健施設敬愛荘	8回
南昌病院	9回
介護老人福祉施設悠和荘	8回
一人暮らし老人の集いの昼食づくり	2回 = 12名
いきいき福祉交流会ボランティア	3名

#### ②千成りの会

一人暮らし老人の集いの昼食づくり	1回 = 6名
みちのく療育園	12回
いきいき福祉交流会ボランティア	3名

#### ③食生活改善推進員協議会

一人暮らし老人の集いの昼食づくり	1回 = 9名
------------------	---------

#### ④矢巾町母子寡婦福祉協会

一人暮らし老人の集いの昼食づくり	1回 = 5名
子育て支援センターぽかぽか広場ベビーボランティア	14回 = 14名
ここかむ食堂	12回 = 135名

#### ⑤矢巾町更生保護女性の会

第67回社会を明るくする運動啓発活動	3回 = 28名
--------------------	----------

ひまわりサロン（矢巾中学校抹茶サロン）	1回 =8名
介護老人保健施設敬愛荘ボランティア	1回 =6名
矯正施設訪問	5回 =22名
少年非行防止パトロール	6回 =24名
健康福祉まつりボランティア	10名
子育て支援ボランティア（地域見守り活動）	14回 =39名

⑥矢巾町老人クラブ連合会

全国社会奉仕の日活動 =環境整備
老人クラブ女性部会による雑巾・布巾作りと福祉施設等への寄贈
サロン活動でのボランティア（各公民館での活動に協力）

⑦「ちょボラの会」

みちのく療育園訪問とリネン整理ボランティア	年12回
福祉作業所あさあけの園作業ボランティア	年24回
赤い羽根共同募金活動	10名

⑧J Aいわて中央やはばハートフルワーカーズ「にじの会」

特別養護老人ホーム志和荘リネン交換	年12回
町内3地区でサロン活動(広宮沢1区、北郡山、室岡)	各3回

⑨いきいきボランティア

みちのく療育園	12回
生きいき福祉交流会ボランティア	3名

⑩シルバーカラオケ教室

介護老人保健施設敬愛荘演芸ボランティア	1回 =11名
---------------------	---------

⑪矢巾町保護司会

少年非行防止パトロール	年6回=27名
第67回社会を明るくする運動街頭活動	9名

⑫傾聴ボランティアやはば「柚子の会」

百万石矢巾口	7回=21名
--------	--------

小規模多機能型居宅介護事業所むつき	2回=4名
デイサービス「百万石」矢巾口	1回=2名

#### 4 高齢者福祉関係

平成 29 年度は町内における福祉活動やボランティアの充実により、町民誰もが公平に福祉サービスが受けられることと、誰もが安心して暮らすことができる地域を創造すること、誰もが福祉の担い手となって住みよい地域が創り出されることを目標として、在宅福祉を支えるボランティアの育成と住民ネットワークの連携強化に取り組んだ。

##### (1) 救急医療情報キットの配布

救急医療情報キットは、一人暮らし老人や障がいを持った方々が、普段かかりつけの病院、常用している薬の情報やいざという時にどこの誰に連絡をしたら良いかなどの情報を各自で所定の用紙に記入し、筒状の容器に入れて冷蔵庫で保管するものである。平成 29 年度は新たに 9 件の利用申請があり、救急隊員などが駆けつけた時に、これらの情報が有効に役立つことから、高齢者の安心感へとつながっている。

##### 【配布状況】

救急医療情報キット配布地区	配布世帯数
徳田地区民協管内	122 世帯
煙山地区民協管内	225 世帯
不動地区民協管内	90 世帯

##### (2) いわて“おげんき”みまもりシステム事業

いわて“おげんき”みまもりシステムは、一人暮らしの方が一日 1 回指定の電話番号に電話をかけるシステムで、その情報はすぐに社会福祉協議会のパソコンにメールで送信されるものである。同時に社協職員の携帯電話、あらかじめ登録していただいた親族の方にもメールで情報が伝わるシステムで、「具合がわるい」と発信されたり、夕方まで待っても発信がないときは、地域の民生委員、近くの協力者の方に訪問してもらったり、社協職員が電話や直接訪問して安否を確認するもので、本人や家族の安心につながっている。

##### 【利用者数】

お元気見守りシステム利用地区	利用者数
広宮沢 1 区行政区	2 名
東徳田行政区	1 名
矢次行政区	1 名
南矢幅 4 区行政区	3 名

合 計	7名
-----	----

### (3) ひとり暮らし老人等給食サービス事業

福祉基金の利息を活用した事業として、一人暮らし老人等に対し給食サービス事業に取り組んだ。対象者は一人暮らし老人のほか、精神障がい者や知的障がい者等であって食事づくりが困難な方についても対応した。また、配達も11名のボランティアが登録されており、9名のボランティアによる手作りのあたたかいお弁当は、利用者からも大変好評をいただいている。

サービス利用登録者	33名
サービス提供回数	20回
提供食数	646食
食事ボランティア数	延べ148名
宅配ボランティア数	延べ198名

### (4) 生きいき教室事業

高齢者の社会参加意欲を高め、健康で生きがいのある生活を送ることへの援助を行った。単位老人クラブごとに日時を定め実施し、高齢者の社会参加意欲を高め、クラブ内の連帯意識や相互互助につながっており、生きいきとした笑顔で参加されている。事業の主体となったシルバーカラオケ教室や、男の料理教室、健康づくりウォーキングともに好評で、講師の指導を仰ぎながら生きがいづくりと健康促進を図ってきた。

#### 【生きいき教室の実施状況】

対 象	60歳以上の高齢者
事 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シルバーカラオケ教室 12回 延べ360名 講 師 紫波町 浦田 昭男氏</li> <li>・男の料理教室 期 日 平成29年7月21日 9名 9月21日 5名 12月20日 8名 延べ22名 講 師 ふじよし店主 加藤 伸夫氏</li> <li>・ノルディックウォーキング 46名 期 日 平成29年10月18日 場 所 一関市巖美溪</li> </ul>

### (5) 一人暮らし老人（ゆり花の集い）会食サービス事業

一人で生活している高齢者の生きがいを高め、健康相談やバランスの取れた食事、仲間づくりを通じた助け合い、安否の確認等を目的として実施した。

特に「食生活改善推進員協議会」「さくらの船の会」、「矢巾町母子寡婦福祉協会」、「千成りの会」「食ボラ工房菜々彩」の5団体からボランティア協力を仰ぎ、毎回手作りの食事を提供いただき、共に会食を通してコミュニケーションをとりながらネットワークの形

成を図ることができた。また、レクリエーションやシルバーリハビリ体操、季節の行事など心と体のリフレッシュをすることができた。さらには煙山保育園の協力を得ながら園児との交流事業も実施した。

本年度は、東日本大震災で町内に移り住んだ方とのサロンも同時開催し、孤立化を防ぎ、参加者同士のつながりを持つことができた。

①ゆり花の集い開催状況

開催回数	年間8回
利用人数	延べ139人
会場	さわやかハウス・煙山保育園
事業内容	血圧測定、健康相談、会食（ボランティアより提供）、ゲーム、シルバーリハビリ体操、季節の行事等

②ボランティア協力の状況

食生活改善推進員協議会	1回
さくらの船の会	2回
矢巾町母子寡婦福祉協会	1回
千成りの会	1回
食ボラ工房「菜々彩」	1回
煙山保育園	1回
男の料理教室受講者	1回

(6) 一人暮らし老人外出事業

一人で生活している高齢者の生きがいを高めるとともに仲間づくりを図ってきた。参加者が高齢でもあることから、遠距離は控え参加者の負担にならないよう対応した。

対象	60歳以上の一人暮らしの高齢者
開催回数	年間2回
利用人数	延べ30名
内容	第1回 平成29年5月19日 15名 ラ・フランス温泉館湯楽々 第2回 平成29年10月20日 15名 ビッググループ滝沢

(7) 一人暮らし老人福祉おつかいサービス事業

一人で生活している高齢者など買い物が困難な方の日常生活を支援するため、スーパーへ送迎する買い物サービス事業を展開した。やはば生活支援ネットワーク協会による実施で町内の7社会福祉法人、1医療法人がサービスの提供を行った。

対 象	60 歳以上の一人暮らしの高齢者
利 用 者	15 名
開 催 回 数	年間 12 回（毎月第 1 火曜日）
利 用 人 数	延べ 114 名

### （８）ねたきり老人理容サービス事業

在宅でねたきりの高齢者の衛生と心の健康を図るとともに、介護者の負担を軽減するため、町内理容店の協力を得て、理容店の訪問による理容サービスを実施した。

#### 【ねたきり老人等利用サービス事業実施状況】

対 象	在宅でねたきりの高齢者
協 力	町内理容店
利 用 者	5 名
利 用 回 数	延べ 10 回

### （９）高齢者健康づくり事業

高齢者の健康づくりを応援し、生きいきとした社会を形成するため、老人クラブ連合会と協力し次のとおり事業を展開した。

#### 1) 町内での活動状況

##### ①第 32 回矢巾町長生きいきシルバースポーツ大会

期 日 平成 29 年 6 月 24 日 かつこうグラウンド

優勝：不動 A 準優勝：煙山 A 第 3 位：煙山 E

##### ②第 15 回マレットゴルフシニア大会

期 日 平成 29 年 9 月 9 日 矢巾町マレットゴルフ場 63 名

赤い羽根共同募金に 33,000 円寄付

##### ③第 29 回赤い羽根チャリティーゲートボール大会

期 日 平成 29 年 9 月 26 日 さわやかハウス 25 名

優勝：室岡 準優勝：南矢幅 4 区 第 3 位：白沢

赤い羽根共同募金に 23,000 円寄付

##### ④老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会

期 日 平成 29 年 11 月 14 日 岩手山焼走り国際交流村 24 名

##### ⑤矢巾町老人クラブ輪投げ大会

期 日 平成 30 年 3 月 8 日 矢巾町体育館 参加 29 チーム 227 人

優勝：間野々よつば会、矢巾 2 区、南昌やまゆりの会、北郡山

#### 2) 岩手県内・岩手紫波地区での活動

##### ①岩手紫波地区老人スポーツ大会

期 日 平成 29 年 8 月 2 日 雫石総合運動公園 51 名

優勝：紫波町 準優勝：岩手町 第3位：矢巾町

## (10) 高齢者社会参加、生きがい推進活動

高齢者の社会参加を応援し、生きいきとした社会を形成するため、老人クラブ連合会と協力し次のとおり事業を展開した。

### 1) 社会奉仕の日の活動

①期 日 平成29年9月3日 秋の花いっぱい活動

場 所 県道13号線沿線花壇

参加 30名

②期 日 平成29年9月20日 町内全域美化運動

参加 31 老人クラブ

### 2) 第34回岩手紫波地区老人芸能大会

期 日 平成29年11月29日 渋民姫神ホール 37名

参加者 5町村 26 演目

矢巾町出演団体

矢次、高田2区、白沢、桜屋、藤沢、広宮沢

### 3) 矢巾町老人クラブ連合会役員研修会

期 日 平成30年3月5日～6日 平泉ホテル武蔵坊

参加者 76人

内 容 ・老人クラブ活動の推進について

・地域ネットワーク台帳の点検・友愛活動チーム組織票の作成

・クラブの活動状況について

高田3区友愛クラブ、矢巾3区老寿会

### 4) 矢巾町老人クラブ連合会女性部の活動

#### ①老人クラブ女性部代議員会

期 日 平成29年5月11日 さわやかハウス

参加者 老人クラブ女性部代表 30名

#### ②岩手県老人クラブ連合会女性部委員会

期 日 ①平成29年4月26日 プラザおでって

②平成30年2月20日 プラザおでって

参加者 老人クラブ女性部長

#### ③さわやかハウス花壇づくり奉仕

期 日 平成29年5月25日 さわやかハウス 3名

#### ④岩手県老人クラブ連合会友愛活動研修会

期 日 平成29年8月22日 ふれあいランド

参加者 老人クラブ女性部代表 11人

内 容

【講演①寸劇】「高齢者の交通事故防止及び特殊詐欺防止について」



岩手県環境生活部県民くらしの安全課 主任主査 高橋康浩氏  
// 中村和明氏  
地域安全アドバイザー 芳賀みどり氏、金矢夕子氏、櫻さつき氏

**【事例発表】**

陸前高田市老連会長 小野寺彦宏氏  
花巻市老連東和支部女性部委員長 藤井安子氏

**【講演②】「命(こころ)を笑顔にする作法」**

真宗大谷派 碧祥寺 住職 太田宣承氏

**【グループ党議】友愛活動の取り組み**

⑤矢巾町連合婦人会歳末助け合い演芸会

期 日 平成 29 年 12 月 10 日 田園ホール

参加者 女性部 18 人

内 容 踊り発表

5) 岩手紫波地区老人クラブリーダー研修会

期 日 平成 29 年 10 月 23 日～24 日 ホテル紫苑

参加者 4 人

内 容

**【講話①】「悪徳商法に負けないために」**

盛岡市消費生活センター 山本尚子氏

**【講話②】「元気でイキイキと過ごすために」**

岩手県健康福祉課 けんこう推進課 保健師長 山口重子氏

**【実技】 「レインボー健康体操で寝たきりゼロ」**

特定非営利活動法人ウェルネスクラブ 代表 工藤昭敏氏

6) 第 48 回岩手県老人クラブ大会

期 日 平成 29 年 10 月 3 日 遠野市民ホール

参加者 5 名

内 容

**【式典 アトラクション】**

**【講演】「遠野物語」と棄老伝説**

遠野市史編さん委員会委員長 大橋 進氏

7) 市町村老人クラブ連合会長・事務局長研修会

期 日 平成 29 年 7 月 20 日～21 日 花巻市愛隣館

参加者 会長

## 5 障がい者福祉活動関係

### (1) 声の広報発行事業

ボランティアの協力を得て広報やはばを中心に毎月声の広報を発行

対 象 者	視覚障がい者 2 人
ボランティア	声の広報ボランティア 7 人（登録）
配 達	民生児童委員
発行回数	年 12 回
延べ発行数	24 回

## （２）車いす対応車両の無料貸出

日常生活で常時車椅子を使用する重度障がい者が、病院への通院や外出する際に、できるだけ介護者の負担を軽減し、また介護される方も気兼ねなく外出することができるように、車いす対応のリフト付車両を無料で貸出した。

貸出回数	年間 30 回
------	---------

## （３）身体障がい者健康づくり推進事業

身体障がい者の健康づくりを応援し、生きいきとした社会を形成するため、矢巾町身体障害者協議会と協力し次のとおり事業を展開した。

### 1) 第 19 回岩手県身体障がい者スポーツ大会

期 日 平成 29 年 6 月 3 日

参加者 2 名

- ・車いす 100m 第 1 位、2 位

### 2) 第 46 回岩手紫波地区身体障がい者スポーツ交流会

期 日 平成 29 年 7 月 6 日 葛巻町社会体育館

参加者 14 名

- ・優勝 雫石町 準優勝 紫波町 第 3 位 葛巻町 第 4 位 矢巾町

## （４）障がい者社会参加推進事業

障がい者の社会参加を推進し、住みよい社会づくりを進めるため、各種関係機関、団体、ボランティア等の協力を得て事業を展開した。

### 1) 第 37 回矢巾町ふれあい広場（台風影響により中止）

### 2) 第 28 回いきいき福祉交流会

期 日	平成 30 年 2 月 23 日 さわやかハウス
参 加 者	約 110 名
内 容	毎日を生き生きと過ごし、障がい者や高齢者、各世代全ての人々が心身両面における健康の保持増進に努め、町内の福祉関係団体、施設、ボランティア団体が一同に集い、交流を深めた。 チーム対抗「ゲーム大会」 輪投げ、風船バレー、棒サッカー

### 3) 知的障がい者交流事業「なかよし号」

期 日	平成 29 年 7 月 10 日
-----	------------------

場 所	宮城県（仙台うみの杜水族館）
参加者	27名、事務局

### （５）身体障がい者・知的障がい者福祉推進

- 1) 第 59 回岩手県身体障がい者福祉大会  
矢巾町身体障害者協議会役員研修会  
期 日 平成 29 年 7 月 14 日～16 日 盛岡市キャラホール、秋田県湯瀬温泉  
参加者 18 人
- 2) 矢巾町身体障がい者協議会会員研修会  
期 日 平成 29 年 10 月 17 日 大船渡湾内クルーズ  
参加者 22 名
- 3) 知的障がい児（者）日本舞踊教室  
期 日 毎月 第 2、第 4 日曜日 さわやかハウス  
参加者 知的障がい児（者）  
講 師 花柳美寿晴先生

### （６）パラリンピアン高橋幸平選手を支援する会

- ①平成 30 年 1 月 30 日 発起人会 町公民館 会長、佐藤次長
- ②平成 30 年 2 月 5 日 事務局会議 町公民館 佐藤次長
- ③平成 30 年 2 月 15 日 壮行会 やはぱーく 会長、佐藤、小松主任
- ④平成 30 年 3 月 14 日、3 月 17 日 パブリックビュー 会長、次長、藤原
- ⑤平成 30 年 3 月 28 日 事務局会議 町公民館 佐藤次長

## 6 母子・父子・児童青少年福祉活動関係

### （１）児童青少年福祉教育の推進

保育園・小・中・高等学校の協力を得、社会福祉やボランティア活動への理解を深め、地域社会の連帯意識と奉仕の心を育成するため、社会福祉協力校（おもいやりの心育成事業）活動に取り組んだ。

特に、他の人や身の回りのことなどにも目をむけ、実践する行動力を身につけると共に、学校等の周辺にある福祉施設を訪問し、様々な人々とふれあうことにより、そこで生活する人たちへの理解を深めた。

#### 1) 取り組みを行なった学校等

保育園	7 園
幼稚園	1 園
小学校	4 校
中学校	2 校
高等学校	1 校

#### 2) 保育園関係の主な活動

- ・老人クラブ等地域の高齢者との世代間交流共同農園作り、伝統行事の伝承活動  
一人暮らし老人との交流会、施設訪問等

- ・福祉施設との交流

志和荘・第二新生園・おでんせ広場・敬愛荘・シエーンハイムやはば・南デイサービス・百万石デイサービス・グループホーム太陽荘・悠和荘

### 3) 小学校関係の主な活動

- ・ボランティア活動の理解と実践

JRC活動の推進、VS活動とバンクカード活動、ボランティアの日の設定  
こんなやさしい町がすき「子ども川柳、子ども作文」への取組み

- ・環境美化活動

花いっぱい、クリーン作戦、緑の募金運動、校内奉仕活動、雪かき奉仕

- ・町内老人ホーム、保育園児との交流

- ・老人クラブ等地域の高齢者との世代間交流

田植え、畑作業、伝統行事の伝承活動、スクールガードお礼の手紙、運動会交流、メッセージカード、チャグチャグ馬っ子見学交流、七夕祭り、もちつき、やきいも大会

- ・募金活動への協力

東日本大震災救援募金、赤い羽根共同募金、ユニセフ、ベルマーク、アルミ缶プルタブ収集

### 4) 中学校の主な活動

中学生の自主的な活動を尊重し社会奉仕や連帯意識を育て、人間性豊かな生徒を育成する。

- ・募金活動の取組み

東日本大震災救援募金、赤い羽根・歳末・ユニセフ・書き損じはがき回収・一円玉募金

- ・福祉施設（敬寿荘）（第二新生園）へのボランティア活動

- ・野田村・野田中学校支援活動

- ・特別養護老人ホーム志和荘文化祭行事での活動

- ・地域高齢者との年賀状交流・体育祭に老人クラブを招待

- ・各地区ごとにボランティア活動に取り組む

### 5) 高等学校の主な活動

コミュニティ委員会が中心となって、福祉やボランティア活動の実践的な力を身につけた。特に東日本大震災後、野田村との交流活動（小・中学生の学習支援、夏まつりボランティア）を継続的に行っており、そこで生活する人たちへの理解を深めた。

講師を招き手話講習会を積極的に行うなど、手話の技術を習得し、いのちの電話チャリティコンサートに手話通訳として参加した。

- ・募金活動の取組み

東日本大震災救援募金、赤い羽根共同募金・ユニセフ募金・あしなが募金・緑の羽根募金、書き損じハガキ回収・青少年赤十字へ寄付、ペットボトルキャップ回収

## (2) 母子父子家庭児童福祉事業

母子及び父子家庭の児童の福祉事業を、矢巾町母子寡婦福祉協会と協力して次のとおり活動が展開した。

### 1) 母子父子家庭親子の集い

平成 29 年 7 月 9 日 仙台うみの杜水族館、キリンビール工場見学  
参加者 37 名 (内子ども 15 名)

### 2) 母子寡婦福祉協会研修会関係

#### ①矢巾町母子福祉協会会員研修

期 日 平成 29 年 10 月 10 日 陸前高田市黒崎仙峡温泉  
参加者 21 名

#### ②矢巾町母子寡婦福祉協会役員研修

期 日 平成 29 年 2 月 10 日 鶯宿温泉 赤い風車  
参加者 8 名

### 3) 子育て支援活動への取り組み

「家庭養育ヘルパー養成講座」を修了した会員が矢巾町子育て支援センター子育て助け隊に登録し、ぽかぽか広場ベビーでボランティア活動をした(14 回延べ 14 名)。

### 4) 健康生きがいがづくり推進事業(岩手県母子寡婦福祉連合会事業)

期 日 平成 29 年 11 月 8 日 紫波町福祉総合相談センター

参加者 会員 5 名

内 容 ・軽体操レクリエーション

岩手県レクリエーション協会 小島 勝子氏

・調理実習と会食交流会

野菜ソムリエ 藤原 利子氏

### 5) ひとり親世帯の居場所づくり「ここかむ食堂」

矢巾町母子寡婦福祉協会が中心となり、地域の賛同者やボランティアの協力を得ながら、一人親世帯に限ることなく、大人の居場所、子どもの居場所として定着した。

毎月第 3 日曜日 11:00~15:00 さわやかハウス

延べ参加人数 母子協会員 103 名 親 53 名、子ども 65 名(中学生含む)

ボランティア(食事作りや子どもの学習や遊びの相手)32 名

一般参加 20 名

## (3) 子育て安心ネットワーク

子どもや子育てに関わる福祉・保健・教育・労働・住環境など、関係各部門が協力し、保護者や地域と連携して、子育てにやさしい矢巾町の実現をめざし、社会全体で子育てを支援するため各関係機関との連携を図った。

児童及び幼児の健全な育成と共に、保護者とのコミュニケーションを深めることによ

り、安心して子どもを育てられる環境を整備するため、矢巾町子育て支援センターと協力し、子育て安心ネットワーク事業の一員として、ひろば型の「うさちゃんのへや」を運営した。母子だけの交流にとどまらず、小学生との交流会、地域の高齢者との交流会など幅広い事業を展開することができた。

母親の子育て不安を解消し、親子で気軽に利用できる環境整備に努めた。

・子育て支援拠点事業「うさちゃんのへや」

事業目的	乳幼児と親の居場所、仲間作り支援
開催場所	矢巾町農村環境改善センター
開所時間	火、木、金曜日 10:00～15:00
開所日数	年間 149 日
利用状況	年間大人 555 名、子ども 628 名
事業内容	創作遊び、人形劇鑑賞、ふどうこども園交流会、リズム遊び、季節の遊び、親子ふれあいあそび、児童館交流会等

## 7 福祉関係一般

### (1) 生活福祉資金

低所得者、障がい者及び高齢者に対し資金の貸付と必要な援助指導を行なうことにより、その経済的自立及び生活意欲を助長し、安定した生活を送れるよう援助することを目的として貸付事業に取り組んだ。特にも昨今の経済状況や雇用形態の悪化により、失業者や生活困窮者が増加したままの状態が続いており、関係諸機関と連携を取りながら対応した。

#### 1) 貸付（生活相談）受付状況

	件数
相談受付総件数	145 件
申請にいたった件数	14 件
相談のみの件数	131 件

#### 2) 平成 29 年度中の貸付け状況

資金の種類	決定件数	決定金額	備考
生活支援費	0 件		
一時生活再建費	0 件		
教育支援費	7 件	2,940,000 円	
就学支度費	3 件	1,167,000 円	

緊急小口資金	2件	200,000円	
福祉費	2件	543,000円	
合計	14件	4,850,000円	

### 3) 貸付けの総件数（平成30年3月31日現在）

資金の種類	29年度末の貸付中の総件数	当初貸付金額	償還残金（滞納額含む）
生活福祉資金	166件	111,759,827円（元金）	83,332,840円
総合支援資金	28件	19,772,000円（元金）	17,692,408円
離職者支援資金	2件	1,800,000円（元金）	1,190,106円

## (2) たすけあい金庫

低所得世帯を中心として、生活保護の対象者及びこれに準ずる法外援護の必要と認められる世帯に対し、日常生活のための緊急援護資金を貸付して自立を促すことを目的として設置している。また、支払が長期にわたって滞っている世帯に対し償還について促すなど、償還指導を行なった。

### 1) 平成29年度の状況

貸付け件数	12件	202,000円
償還件数	33件	223,000円

### 2) 貸付け残高（平成30年3月31日現在）

貸付け総件数と残高	22件	943,000円
-----------	-----	----------

## (3) 生活困窮者自立支援事業

### いわて県央生活支援相談室

生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者の自立に向けて包括的かつ継続的な総合支援を行うことを目的とし、いわて県央生活支援相談室を開設した。岩手県社会福祉協議会から専門相談支援員が来所し相談業務、関係機関との連絡調整を行った。

また包括的かつ継続的な支援が提供できるよう、月1回生活困窮者自立支援調整会議に参加し関係機関とのネットワークの構築を図る。

#### 【相談件数その他】

新規相談	97件
------	-----

相談延べ数	950 件 電話 202 面談 109 他機関 395
支援調整会議	38 回 延べ 72 ケース
家庭訪問	89 回
終 結	83 件

【支援内容】

同行支援 (買物、不動産業者、医療 機関、行政、ハローワーク、 金融機関等)	32 件
食糧支援	36 件
貸付等の経済的支援	0 件
就労支援	8 件
住まい探し	2 件
債務関係	10 件
衣料支援	5 件

※その他・・・生活保護申請に係ること、支援機関との打合せ等

(4) 犯罪予防活動

犯罪をなくし、明るく住みよい社会をつくるため、保護司会、更生保護女性の会等と協力し、次のとおり活動を展開した。

1) 社会を明るくする運動矢巾町推進委員会

期 日 平成 29 年 6 月 13 日 役場大会議室

法務大臣メッセージ伝達式、啓発活動他運動展開について

2) 第 67 回社会を明るくする運動

①期 日 平成 29 年 6 月 30 日 J R 矢幅駅～マックスバリュ・アルコ

参加者 矢巾町更生保護女性の会 18 人 保護司 2 人

内 容 駅ホームに風鈴設置～啓発用ティッシュ、ビスケット配布

②期 日 平成 29 年 7 月 3 日 矢幅駅、町内小中学校、高校

参加者 矢巾町保護司 9 名 矢巾町更生保護女性の会 3 名

内 容 啓発用ティッシュ配布

③期 日 平成 29 年 6 月 19 日・20 日・21 日

参加者 矢巾町保護司 延べ 10 人



内 容 町内小学校、中学校訪問

④期 日 平成 29 年 7 月 21 日、8 月 25 日、9 月 22 日 町内中学校

参加者 矢巾町保護司 延べ 11 人

内 容 岩手っこ生きいきサポート声かけ運動

3) 矯正施設へ訪問（更生保護女性の会）

・盛岡少年院（運動会 5 月 27 日、盆踊り大会 8 月 25 日、賢治祭 10 月 28 日、紫波地区更生保護女性の会施設研修 11 月 7 日）

・岩手保護院（11 月 27 日）

4) 矢巾中学校ひまわりサロン(抹茶サロン)

期 日 平成 29 年 7 月 21 日 矢巾中学校

参加者 矢巾町更生保護女性の会 8 名、不来方高校茶道部 12 名

内 容 だれでも参加できる抹茶サロン

5) 研修事業

①人権擁護委員・保護司・心配ごと相談員合同研修会

期 日 平成 30 年 1 月 29 日 岩手日報制作センター・利衛門

参加者 19 名

内 容 岩手日報制作センター見学、団体活動発表

②岩手県更生保護女性の集い

期 日 平成 29 年 7 月 5 日 一関市文化センター

参加者 更生保護女性の会 10 名

内 容

【表彰】東北地方更生保護委員会委員長感謝状 1 名

東北地方更生保護女性連盟会長表彰 2 名

市町村感謝状 1 名

盛岡保護観察所長感謝状 2 名

【講演】「世界を観る眼で一関を拓く」

一関市長 勝部 修氏

③岩手県更生保護研究大会

期 日 平成 29 年 10 月 26 日 一関市文化センター

参加者 保護司会、更生保護女性の会 8 人

6) 少年非行防止等パトロール(矢巾っこすくすくネットワーク)

保護司会 = 年 6 回

更生保護女性の会 = 年 6 回

7) その他町内外での活動

①矢巾っ子すくすくネットワーク会議 年 3 回

②矢巾町ふれあい広場・健康福祉まつりにて刑務所作業製品矯正展協力

③年末年始特別警戒パトロール

## (5) 地域歳末たすけあい運動

地域歳末たすけあい運動は共同募金会、民生児童委員協議会と協力し次のとおり運動を展開した。

### ①高齢者関係

ねたきり老人	2人	10,000円
一人暮らし老人	50人	250,000円
老人世帯	22世帯	110,000円
認知症老人	2人	10,000円
合計		380,000円

### ②障がい者関係

重度身体障がい者	72人	360,000円
知的障がい者	67人	335,000円
精神障がい者	8人	40,000円
合計		735,000円

### ③母子父子家庭関係

母子世帯（中学生以下）	61世帯	465,000円
父子世帯（中学生以下）	4世帯	30,000円
合計		495,000円

### ④生活困窮世帯関係

生活困窮世帯	31世帯	315,000円
--------	------	----------

### ⑤ボランティアグループ配分関係

地域でのサロン活動団体 13 団体	260,000円
子育て支援サークル 3 団体	30,000円
介護者の集い	20,000円
ボランティア団体	35,000円
合計	345,000円

## (6) 暮らしの専門相談所事業の取り組み

### 1) 「暮らしの専門相談所」の連絡調整

一般相談、専門相談、電話相談等あらゆる機会を通じて、住民の相談に応じ、適切な助言を与え、地域の社会資源を活用し問題の早期解決を図る。

### 2) 相談所開設場所及び相談実施時間

- ・相談所開設場所 矢巾町保健福祉交流センターさわやかハウス相談室

一般相談	午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
電話・メール相談	月曜日～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分
暮らしの専門相談	弁護士相談毎月 1 回 午前 10 時～3 時

所	人権相談 毎月第2金曜日 午前9時～午後3時 行政相談 毎月第2金曜日 午前9時～正午 障がい、高齢者、保健、児童等 毎月1回 午後1時～午後4時
消費生活相談	年3回 午後1時～午後4時
司法書士	年4回 午後1時～午後4時

### 【相談受付状況】

相談種別	相談員	開催日数	相談件数	主な相談内容
①一般相談所	地域福祉活動コーディネーター	240日	2	職場人間関係、家族関係
②心配ごと相談	民生委員8名	4日	0	
④行政相談	行政相談員2名	12日	7	道路工事の補償、下水道工事の要望、相続問題等
⑤人権、法律相談	弁護士2名・人権相談員7名	14日	42	相続、家族関係、土地問題、債務、離婚、DV、近所トラブル、生計等
⑥司法書士相談	司法書士2名	3日	4	相続、登記簿変更等
⑦債務、DV	消費生活アドバイザー	3日	1	DV

### 【平成29年度相談所問題別集計】

相談種別	相談件数	相談種別	相談件数
生計	0	児童、保健福祉	1
職業	0	老人福祉	1
年金	0	母子・父子	5
家族	1	苦情	0
教育・青少年	0	行政相談	5
離婚	6	消費生活・サラ金	1
障がい福祉	0	震災関係	0
医療	1	虐待	1
精神福祉	1	登記	1
人権、法律	15	その他	2
財産、相続	15	合計	56

